



# 平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月1日

上場会社名 三菱食品 株式会社

上場取引所 東

コード番号 7451 URL <http://www.mitsubishi-shokuhin.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井上 彪

問合せ先責任者 (役職名) 財務経理本部 IR室長 (氏名) 桜井 信彦

TEL 03-3767-5204

四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	1,783,216	10.7	14,432	1.3	15,863	2.1	9,230	△17.2
24年3月期第3四半期	1,610,212	—	14,240	—	15,542	—	11,150	—

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 9,607百万円 (△19.9%) 24年3月期第3四半期 11,994百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	161.54	—
24年3月期第3四半期	216.62	—

(注) 平成24年3月期は、平成23年3月期が12月決算から3月決算へ決算期の変更をしたことに伴い15ヶ月の変則決算となっておりますので、対前年同四半期増減率は記載しておりません。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	692,995	115,742	16.5	2,004.87
24年3月期	589,384	109,129	18.2	1,880.07

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 114,560百万円 24年3月期 107,430百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	15.00	—	25.00	40.00
25年3月期	—	20.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,400,000	11.5	19,500	7.2	21,000	6.1	11,000	△10.4	192.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 一社 (社名) 、 除外 2社 (社名) 株式会社サンエス・株式会社フードサービスネットワーク

(注)詳細は、【添付資料】3ページをご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、【添付資料】3ページをご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	58,125,490 株	24年3月期	58,125,490 株
25年3月期3Q	984,252 株	24年3月期	984,053 株
25年3月期3Q	57,141,337 株	24年3月期3Q	51,474,870 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	8
4. 補足情報 .....	10
(1) 品種別売上高明細表 .....	10
(2) 業態別売上高明細表 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成24年4月1日～12月31日）におけるわが国経済は、東日本大震災後の復興需要等により企業収益や個人消費に一部持ち直しの傾向が見られたものの、欧州の債務危機、新興国経済の停滞等、海外経済の減速を受け回復基調に足踏みが見られ、依然として不透明な状況が続いております。

食品流通業界においては、電気料金の値上げや消費税増税等による将来への不安から生活防衛意識が高まり、低価格志向が継続する一方、生活者はそれぞれのライフスタイルによる価値観・嗜好性に基づいた購買行動を取る等、マーケットの多様化が進んでおります。

このような状況下、当社グループは、昨年5月に公表いたしました「中期経営計画2015」に基づき、多様化するマーケットに直面する取引先様への機能提供を強化するとともに、提案力・課題解決力を向上させることで、取引の拡大・深耕を図ってまいりました。

「成長戦略」としては、デリカ・生鮮事業への取組みを積極的に進め、さらに中国におけるスーパーマーケット事業への参画に合意いたしました。また、食品のオンライン販売子会社として「株式会社FOOZA（フーザ）」を昨年10月に設立するとともに、通販事業対応の物流センターを新設し、今後の展開に向けた体制を構築いたしました。

「経営基盤の強化」としては、迅速な意思決定を行うべく組織のフラット化を実施し、また、徹底的な効率化と戦略的な経営資源の配分を実現すべく物流拠点の統廃合や不稼働資産の売却等を実行してまいりました。さらには、機能強化とローコストオペレーションの追求のため、全社ベースで業務プロセスの再構築を進め、組織改革や重点分野への人材投入等、大きな変革を目指してまいります。

売上高は1兆7,832億16百万円（前年同期比10.7%増加）、営業利益は144億32百万円（前年同期比1.3%増加）、経常利益は158億63百万円（前年同期比2.1%増加）となりました。また、当四半期純利益につきましては、前年同期において明治屋商事株式会社との合併に伴う繰越欠損金承継による法人税負担の軽減等があったことにより、前年同期比17.2%減少し、92億30百万円となりました。なお、前年実績には統合各社の4～6月実績が含まれておりません。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ① 加工食品事業

震災による備蓄需要の反動減や天候不順等から調味料類、麺・乾物類が低調となり、また、生活者の低価格志向を背景に、厳しい市場環境となりました。

以上の結果、売上高は5,896億45百万円、営業利益は54億16百万円となりました。

#### ② 低温食品事業

内食化により引き続き市販用冷凍食品・惣菜関連商材等が好調であり、また、CVSを中心とした取引が伸びてまいりました。

以上の結果、売上高は6,730億45百万円、営業利益は86億83百万円となりました。

#### ③ 酒類事業

第3のビールや低アルコール・ノンアルコール飲料等、低価格商品の比率の高まりによる影響はありましたが、業務用市場に回復の兆しがみられ、さらに徹底したコスト削減等により利益面の改善は図れました。

以上の結果、売上高は3,428億61百万円、営業利益は89百万円となりました。

#### ④ 菓子事業

震災備蓄需要の反動減や8月以降の猛暑・残暑による影響及び合併に伴う物流関連費用の一時的な増加等があり、11月以降の気温低下により持ち直しはみられたものの、低調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は1,757億43百万円、営業損失は16百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末と比較して総資産が1,036億10百万円、負債が969億97百万円、純資産が66億13百万円それぞれ増加いたしました。

総資産及び負債の増加の主な要因は、歳末商戦に伴う売上増加によるものであり、総資産においては「受取手形及び売掛金」が494億34百万円増加、「商品及び製品」が268億84百万円増加し、負債においては「支払手形及び買掛金」が932億86百万円増加いたしました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年5月7日に公表いたしました平成25年3月期の通期の業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日に、当社連結子会社である株式会社サンエス及び株式会社フードサービスネットワークを当社が吸収合併したことにより、当該会社を連結の範囲より除いております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ35百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,385	2,604
受取手形及び売掛金	295,229	344,663
有価証券	23,500	29,500
商品及び製品	48,567	75,452
原材料及び貯蔵品	58	38
短期貸付金	33,757	54,745
その他	51,456	60,463
貸倒引当金	△247	△2,002
流動資産合計	456,707	565,465
固定資産		
有形固定資産	79,292	75,728
無形固定資産		
のれん	4,292	4,108
その他	2,955	2,708
無形固定資産合計	7,248	6,816
投資その他の資産		
投資有価証券	21,787	22,291
その他	28,302	24,859
貸倒引当金	△3,952	△2,166
投資その他の資産合計	46,136	44,984
固定資産合計	132,676	127,529
資産合計	589,384	692,995
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	407,813	501,100
引当金	2,107	118
その他	48,050	53,409
流動負債合計	457,970	554,628
固定負債		
退職給付引当金	13,199	13,320
役員退職慰労引当金	324	341
その他	8,760	8,962
固定負債合計	22,284	22,624
負債合計	480,254	577,252

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,630	10,630
資本剰余金	33,244	33,244
利益剰余金	65,087	71,747
自己株式	△2,548	△2,549
株主資本合計	106,413	113,072
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,042	1,508
繰延ヘッジ損益	—	0
為替換算調整勘定	△25	△21
その他の包括利益累計額合計	1,016	1,487
少数株主持分	1,699	1,181
純資産合計	109,129	115,742
負債純資産合計	589,384	692,995

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	1,610,212	1,783,216
売上原価	1,478,176	1,643,630
売上総利益	132,035	139,585
販売費及び一般管理費	117,795	125,153
営業利益	14,240	14,432
営業外収益		
受取利息	131	108
受取配当金	497	576
不動産賃貸料	738	1,274
その他	1,015	924
営業外収益合計	2,384	2,883
営業外費用		
支払利息	106	120
不動産賃貸費用	541	1,091
その他	434	240
営業外費用合計	1,082	1,452
経常利益	15,542	15,863
特別利益		
固定資産売却益	14	1,085
その他	344	39
特別利益合計	359	1,125
特別損失		
経営統合関連費用	999	797
減損損失	133	685
その他	1,446	556
特別損失合計	2,579	2,039
税金等調整前四半期純利益	13,321	14,948
法人税、住民税及び事業税	1,749	4,938
法人税等調整額	372	923
法人税等合計	2,122	5,862
少数株主損益調整前四半期純利益	11,199	9,085
少数株主利益又は少数株主損失(△)	49	△145
四半期純利益	11,150	9,230



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	11,199	9,085
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	799	516
繰延ヘッジ損益	—	0
為替換算調整勘定	△5	4
その他の包括利益合計	794	521
四半期包括利益	11,994	9,607
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,947	9,702
少数株主に係る四半期包括利益	46	△94

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	加工食品 事業	低温食品 事業	酒類事業	菓子事業	計			
売上高								
外部顧客への売上高	577,347	574,579	325,439	131,183	1,608,550	1,661	—	1,610,212
セグメント間の内部売上高又は振替高	33,686	5,844	7,607	629	47,767	7,070	△54,837	—
計	611,033	580,423	333,046	131,813	1,656,317	8,732	△54,837	1,610,212
セグメント利益又は損失 (△)	5,981	7,278	△51	825	14,034	798	△592	14,240

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産管理事業、物流関連事業等を含んでおります。

② 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	14,034
「その他」の区分の利益	798
のれんの償却額	△308
全社費用	△283
四半期損益計算書の営業利益	14,240

当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	加工食品 事業	低温食品 事業	酒類事業	菓子事業	計			
売上高								
外部顧客への売上高	589,645	673,045	342,861	175,743	1,781,296	1,920	—	1,783,216
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,695	5,510	6,768	20	13,996	6,789	△20,786	—
計	591,341	678,556	349,630	175,764	1,795,292	8,709	△20,786	1,783,216
セグメント利益又は損失 (△)	5,416	8,683	89	△16	14,172	820	△560	14,432

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産管理事業、物流関連事業等を含んでおります。

- ② 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	14,172
「その他」の区分の利益	820
のれんの償却額	△183
全社費用	△376
四半期損益計算書の営業利益	14,432

- ③ 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、報告セグメントごとの業績をより適正に評価管理するために、当社の共通コストの按分を見直しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報についても、共通コストの按分を見直して作成しており、「前第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日至平成23年12月31日）」に記載しております。

## 4. 補足情報

## (1) 品種別売上高明細表

単位：百万円（未満切捨）

品種	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)		前連結会計年度 (自平成23年4月1日 至平成24年3月31日)	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)
缶詰類	19,770	1.2	20,913	1.2	26,474	1.2
調味料類	182,227	11.3	190,472	10.7	240,115	11.2
麺・乾物類	115,547	7.2	115,634	6.5	153,964	7.2
嗜好品・飲料類	194,352	12.1	203,725	11.4	251,593	11.7
菓子類	137,221	8.5	181,032	10.2	204,725	9.5
冷凍・チルド類	550,238	34.2	644,146	36.1	745,025	34.6
酒類	328,344	20.4	347,821	19.5	423,719	19.7
その他	82,509	5.1	79,469	4.4	106,323	4.9
合計	1,610,212	100.0	1,783,216	100.0	2,151,941	100.0

## (2) 業態別売上高明細表

単位：百万円（未満切捨）

業態	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)		前連結会計年度 (自平成23年4月1日 至平成24年3月31日)	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)
卸売	144,620	9.0	172,589	9.7	196,260	9.1
GMS	136,275	8.4	134,080	7.5	175,930	8.2
SM	648,498	40.3	684,583	38.4	856,199	39.8
CVS	430,446	26.7	523,730	29.4	594,355	27.6
ドラッグストア	49,560	3.1	58,298	3.3	66,796	3.1
ユーザー	48,212	3.0	47,452	2.6	64,287	3.0
その他直販	128,388	8.0	137,099	7.7	166,785	7.7
(直販計)	1,441,382	89.5	1,585,244	88.9	1,924,355	89.4
メーカー・他	24,209	1.5	25,382	1.4	31,325	1.5
合計	1,610,212	100.0	1,783,216	100.0	2,151,941	100.0

(注) 1. GMSはゼネラル・マーチャндаイズ・ストアの略で、総合スーパーであります。

2. SMはスーパーマーケットであります。

3. CVSはコンビニエンスストアであります。

4. ユーザーは外食・中食・給食等消費者へ直接飲食サービスを提供する事業者であります。